

北九州市立霧丘中学校 学校通信

# われら若者

NO. 33

平成27年9月18日 校長 篠崎 政義

HPアドレス <http://www.kita9.ed.jp/kirigaoka-j/>

<校訓>

「自主」自ら学び正しい行動ができる生徒

「明朗」明るくあいさつできる元気な生徒

「努力」くじけず目標に向かって頑張る生徒

## 三色激戦！ ～熱き戦い此処にあり～



「自分は体育委員長という立場なのに、指揮をとらず、指示を出さず、人を動かさず、心がけないばかりでした。そんな時、自分を支えてくれたのは実行委員長である森口純平先生でした。出来ない時は強く叱られ、アドバイスをしてくれ、どうすれば皆を引っ張っていけるかを考えさせてくれました。すべきことは背中語り、自分の思いをみんなにぶつけることでした。練習の前後に自分の思いをぶつける森口先生を見て気付かされたような気がします。(略)最初は声も出ていて雰囲気もよく、これはいけるぞと思っていましたが、練習を重ねる度に課題はどんどん出てきました。一人で悩んでいる時に支えてくれたのは、森口先生、文吾先生をはじめ先生方、副委員長の浦、ブロック長の3人、体育委員のみんなでした。そのような心強い仲間を持ち、壁を乗り越えて、本番では成功という形で終わることができました。第56回体育大会は、最後まで緊張感がありながら応援がやまない、霧丘中学校の団結力や気合を感じさせてくれるものになったと思います。それとともに、『人がやるから自分がやるのではなく、自分の熱い意志をもって行動する』ことの大切さを学びました。そして最後まで諦めずについてきてくれた霧丘中学校生徒と、どんな時も支えてくれた先生方に『ありがとうございました』と言いたいです。これからも霧丘中学校の素晴らしい先生方と信頼関係を築き、また一歩成長した霧中を作り上げていきたいと思っています。(生徒会体育委員長 3年1組 河浦圭祐)

# 中学生あれこれ ひと夏の体験!

## 北九州市の平和大使として被爆地長崎を訪問 倉本竜弥君(2)陽弥君(1)

ぼくは、8月8日から10日までの2泊3日で、青少年ピースフォーラムに参加するために、弟と一緒に長崎へ行きました。ぼくらは、今回のピースフォーラムで学んだことが二つあります。一つ目は、戦争の恐ろしさや平和の尊さを伝えていくことです。第一にこれらのことを伝えていかないと、また必ず戦争を繰り返してしまうから、伝えるということとはとても大事だということがわかりました。二つ目は、学ぶことが大切だということです。今回の青少年ピースフォーラムで、2日目ほかの参加者の方と意見交換をしました。その時周りの人の意見を聞いていると、自分よりもすごい意見を当然のようにたくさん持っていました。それに比べて僕の意見は未熟でした。だから、平和について学ぶことはとても大事だと思いました。今回学んだことを生かして、来年も絶対参加して、もっと有意義にピースフォーラムを進められるようにしたいと思います。

## いじめ防止サミット in 北九州実行委員長の経験 三木陽代里さん(3)

私はこの夏とても貴重な体験をしました。それはいじめ防止サミット in 北九州に委員長として参加したことです。今年度の議題は二つありましたが、私が特に重要だと思ったのは、「たくさんの人とつながり、より良い関係を築いていくにはどのような取組をしたらよieldろうか」という議題です。この議題は、サミットでも大きく取り上げられました。サミットは、北九州市内の小中学校から代表2名ずつが集まり、2日間意見交換をしました。1日目は各学校が意見を持ち寄り、21のグループに分かれて会議を行い、その後、全体会議で「今年度のいじめ撲滅の取組」について採択しました。そこで3つのことが決まりました。「昨年度の取組の継続」「いじめゼロ全市一斉あいさつの日」「みんながスクールカウンセラー・ジュニアになろう」です。2日目は採択した内容の発表や、対人スキルアッププログラムで、気持ちのいいあいさつ法を学びました。最後に皆で手をつなぎ、スローガンを大きな声で唱和しました。1200人が集まった会場全体が、いじめ撲滅の気持ちで一体となり感動的でした。また、福岡市のいじめゼロサミットにも、北九州市の代表として参加しました。北九州市とは少し違った会議の進め方で、とても新鮮でした。まだまだ伝えきれないことがたくさんあります。機会があれば、また発表していきたいと思います。

## 青少年海外交流事業でオーストラリアホームステイへ 井上望雅さん(2)

私は夏休みにオーストラリアへホームステイに行きました。そこでは、たくさんの文化や異なる環境にふれることができました。一つ目は、アボリジニーが住んでいるところへ行きました。ダンパーという大きなスコーンのような食べ物を作ったり、ワニやカンガルーの肉を食べたりしました。アボリジニーが食べる食べ物は独特なものばかりで、とても面白いと思いました。二つ目は、私達が行った学校の生徒との交流です。その学校は5歳から18歳までの子どもが行けます。日本の小学校から高校までがひとつになったようなところでした。とても広く初めて行った時はとても緊張しました。でも話してみるとすぐに仲良くなり、とても楽しかったです。学校の生徒からカップケーキをもらったり、日本語で話をしたりして、たくさんの人とふれ合えてよかったなと思いました。この体験は異国の文化などを感じるだけでなく、自分の将来に役立つものになると思いました。また、自分に自信が持て自分を変えてくれるものと思いました。私は恥ずかしがり屋でしたが、自分から積極的に話しかけ、自分に自信が持てるようになりました。このような機会があればまた体験してみたいと思いました。

### ※「われら若者No.32」の訂正と挿入をお願いします。

【柔道部】 女子個人「河原」〔2〕さんは、「川原」さんに訂正  
【※柔道】 男子個人「奥園」〔3〕くんを、「奥園」くん  
男子個人「岩井」〔2〕くん 区内大会3位 を挿入  
以上、お詫びして訂正いたします。